

平成 28 年度事業報告書

(平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで)

公益財団法人本庄国際奨学財団

事業報告書

(第21期：平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

概要

平成28年度は外国人留学生37名、日本人国内大学院生10名、海外留学日本人大学院生22名、海外プログラムによる16名、「食と健康」研究助成金対象者5名に対して奨学金および研究助成金の支給を行った。外国人留学生および日本人国内大学院生と毎月1回の面接を行い、研究の進捗状況について報告を受け生活上の悩みなどについてアドバイスを行った。多様な国籍の留学生を採用し、日本人大学院生も含めた交流の場を提供した。またOB,OGと現役の奨学生との交流事業に引き続き力を入れ、交流イベントを開催している。

平成23年3月11日の東日本大震災の被災学生に対する奨学援助事業は、引き続き、東北大学、福島大学、岩手大学、福島県立医科大学、岩手医科大学、岩手県立大学の6つの大学に対して合計2,600万円の義援金寄付を行った。また、被災地の仮設住宅住民を訪問し、ペットボトル飲料をお届けするボランティア活動(通称・水ボラ)を9回行った。7月には水ボラ研修旅行として岩手県立大学・オハイオ州立大学と合同でボランティア活動及び交流会を行った。

平成29年度第21期奨学生には外国人留学生818、第12期日本人の国内大学院生プログラムには333名の応募があった。第5回目の募集となる「食と健康助成金プログラム」は、健康維持に対する食品あるいは食品成分の効果を、ヒトを対象とした試験あるいは代替え試験法によって明らかにする研究に助成することを主旨とし、54件の応募があった。以上について、選考委員の厳正な書類審査と、最終面接審査を経て外国人留学生11名、日本人大学院生3名、研究助成金6名、アメリカ国内での5つの奨学金プログラムにおける採用16名、総合計36名の新規採用を行った。

平成28年度第20期海外留学日本人大学院生の募集選考は、平成28年2月～平成28年4月に申請書受付、平成28年7月7日に面接選考、および最終選考会議をおこない、平成28年9月より奨学金を支給開始した。応募者209名、新規採用5名であった。

ネパール震災復興事業は、震災後における現地の教育支援として、公募した募金325万円全額を現地学校へ直接寄付した。

学生寮は、平成30年春の開寮予定で建物の改修工事を開始した。

平成29年8月19日～20日に開催予定の20周年記念国際シンポジウムの準備を開始した。

A 事業実績

平成 28 年度に実施した事業の詳細は次のとおりである。

1. 奨学金支給事業

(1) 奨学金支給

平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月までに奨学生 69 名に対して 1 人当たり月額 15 万円から 20 万円の奨学金援助を行った。海外プログラムで選ばれた奨学生に対しては、各プログラムにおける選考委員会で決定された額（1 プログラムあたり総額 30,000US ドル）を支給した。*平成 28 年度奨学生一覧(添付 1)、2016・2017 海外プログラム奨学生一覧（添付 2）を参照。

(2) 「食と健康」研究助成金の支給

「食と健康」研究助成金対象者 5 名に対して研究助成金の支給を行った。
*研究助成金対象者一覧（添付 3）を参照。

平成 26～27 年度の「食と健康」研究助成金受賞者 5 名による研究成果報告会を開催した。

日時：平成 28 年 10 月 21 日（金）

場所：品川プリンスホテル

参加者：研究助成金選考委員、研究助成金受賞者、奨学生、株式会社伊藤園
中央研究所研究員、財団職員合計約 35 名

(3) 東日本大震災被災学生に対する奨学義援金

東日本大震災で被災した学生に対する奨学金のため、東北 3 県の大学に義援金を贈った。大学と金額は以下のとおりである。

東北大学 700 万円、福島大学 500 万円、福島県立医科大学 300 万円、岩手大学 500 万円、岩手医科大学 300 万円、岩手県立大学 300 万円

(4) 個別面談等

毎月、公益財団法人本庄国際奨学財団の事務局において個別の面談を行い、奨学生から研究の進捗状況の報告を受け、生活上の悩み事などの相談に乗りアドバイスを行った。

音楽会や伝統芸能鑑賞への招待、スポーツ大会等の開催を通じ、奨学生同士の交流を深め、日本の伝統文化を身近に知ってもらう機会を提供した。

(5) 研修旅行

① 株式会社伊藤園工場見学

株式会社伊藤園相良工場、中央研究所、浜岡工場、株式会社ホテイフーズコーポレーション富士川工場を見学し、茶葉の製造、飲料のボトリングを見学。

日時：平成 28 年 6 月 17 日（金）～6 月 18 日（土）

参加者：奨学生、OB/OG、財団職員合計約 30 名

② 水ボラ研修旅行

岩手県立大学・オハイオ州立大学と合同で東日本大震災後、陸前高田市の仮設住宅に住む被災者の方々へペットボトル飲料水を配るボランティア活動を行った。

日時：平成 28 年 7 月 16 日（土）～7 月 18 日（月）

参加者：奨学生、OB/OG と財団職員合計約 30 名

(6) OB 会、交流会等の開催

OB/OG と現役奨学生との交流を深めるため、イベントを開催した。

① 博士論文発表会

平成 27 年度卒業生による修士・博士論文発表会を開催した。

日時：平成 28 年 5 月 22 日(日)午後 1 時 00 分～午後 5 時 00 分

場所：渋谷エクセルホテル東急

参加者：奨学生、OB/OG、財団役職員合計約 45 名

② 第 10 回 HISF ワークショップ

日時：平成 28 年 7 月 3 日(日)午後 3 時 00 分～午後 6 時 00 分

場所：渋谷エクセルホテル東急

講演タイトル：世界をつなぐ経済

講師：シュレスター・ナゲンドラ

参加者：OB/OG、奨学生、株式会社伊藤園社員、一般聴講者、財団役職員合計約 60 名

③ 第 11 回 HISF ワークショップ

日時：平成 28 年 11 月 6 日(日)午後 3 時 00 分～午後 6 時 00 分

場所：渋谷エクセルホテル東急

講演タイトル：チベットの歴史と文化

講師：ガザンジェ

参加者：財団の OB/OG、奨学生、株式会社伊藤園社員、一般聴講者、財団役職員合計約 70 名

④ 忘年会

日時：平成 28 年 12 月 27 日(火)午後 5 時 00 分～午後 7 時 00 分

場所：品川プリンスホテル

参加者：奨学生、OB/OG、その家族、財団役職員合計約 90 名

⑤ 韓国同窓会

日時：平成 29 年 3 月 11 日（土）

場所：ジンジンバラ（ソウル）

参加者：韓国在住の OB/OG、及びその家族、財団役職員合計約 30 名

⑥ 歓送迎会および研究助成金授賞式

日時：平成 29 年 3 月 17 日(金)午後 5 時 00 分～午後 7 時 00 分

場所：セルリアンタワー東急ホテル

参加者：奨学生、OB/OG、その家族、財団役職員合計約 100 名

(7) 東日本大震災被災地におけるボランティア活動（通称・水ボラ）

陸前高田市の仮設住宅住民を訪問し、ペットボトル飲料をお届けするボランティア活動を合計 9 回開催した。

(8) ネパール震災復興活動支援

2015 年 4 月に発生したネパール大震災からの復興支援として、公募した募金 325 万円全額を現地の学校へ直接寄付した。

(9) 募集・選考

① 平成 28 年度第 20 期海外留学日本人大学院生奨学金プログラム

i) 日程

・平成 28 年 1 月 1 日

ホームページに募集要項掲載

・平成 28 年 2 月 1 日～平成 28 年 4 月 30 日

申請書受付

・平成 28 年 5 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日

第一次書類選考

・平成 28 年 7 月 7 日

第二次面接選考および最終選考会議

・平成 28 年 7 月 29 日

理事会において最終選考結果を承認

・平成 28 年 7 月 31 日

ホームページに最終結果を発表

ii) 応募状況および選考結果

応募者総数：209 名

選考結果：平成 28 年度海外留学日本人奨学金最終選考合格者一覧（添付 1）を参照。

② 平成 29 年度第 21 期外国人留学生奨学金、第 12 期国内日本人大学生奨学金、および第 5 期「食と健康」研究助成金プログラム

i) 日程

・平成 28 年 8 月 1 日

ホームページに募集要項掲載および主な大学、国立研究所等へ募集要項を配布

・平成 28 年 9 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日

申請書受付。

- ・平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日
第一次書類選考。
 - ・平成 29 年 1 月 20 日
研究助成金二次面接と選考委員会で最終選考結果を決議。
 - ・平成 29 年 2 月 14 日～平成 29 年 2 月 16 日
奨学生第二次面接選考。
 - ・平成 29 年 3 月 1 日
選考委員会で最終選考結果を決議。
 - ・平成 29 年 3 月 2 日
理事会において最終選考結果を承認
 - ・平成 29 年 3 月 31 日
ホームページに最終結果を発表
- ii) 応募状況および選考結果
応募者総数：1,205 名（外国人 818 名、日本人 333 名、助成金 54 名）
選考結果：平成 29 年度奨学生および研究助成金対象者一覧（添付 4）
を参照。

(9) 学生寮

平成 30 年春の開寮をめざし、建物の改修工事をおこなった。

(10) 20 周年記念国際シンポジウム

平成 29 年 8 月 19 日～20 日に開催日を設定し、企画、宣伝、準備委員会の開催、落語ワークショップを行った。

B 処務の概要

1. 会議

【理事会】

(1) 第 1 回定時理事会

書面による決議

決議があったとみなされた日：平成 28 年 4 月 22 日(金)

議案：

第 1 号議案：平成 27 年度事業報告書及び収支決算書の承認の件

第 2 号議案：平成 28 年度株式会社伊藤園株主総会における議決権行使の件
以上すべて原案通り可決承認された。

(2) 第1回臨時理事会

開催日：平成28年5月9日(月)午後6時00分～午後6時15分

開催地：ザ・キャピトルホテル東急「桐の間」

出席者：理事7名および監事2名

議長：理事長 本庄照子

議案：

第1号議案：理事長、副理事長ならびに常務理事選定について

以上すべて原案通り可決承認された。

(3) 第2回臨時理事会

書面による決議

決議があったとみなされた日：平成28年7月29日(金)

議案：

第1号議案：平成28年(第20期)海外留学日本人大学院生奨学生選考結果承認の件

第2号議案：Honjo-Professor Lewis (USC, IBEAR)奨学金プログラム奨学生選考結果承認の件

以上すべて原案通り可決承認された。

(4) 第2回定時理事会

開催日：平成29年3月2日(木)午後5時21分～午後6時19分

開催地：ザ・キャピトルホテル東急「桐の間」

出席者：理事8名および監事2名、評議員3名

議長：理事長 本庄照子

議案：

第1号議案：平成29年度(平成29年4月1日～平成30年3月31日)事業計画書および収支予算書の承認の件

第2号議案：平成29年度奨学生および研究助成金選考結果の承認の件

第3号議案：学生寮追加改修工事に伴う「不動産取得積立金」の追加積み立て(2,700万円)承認の件

第4号議案：平成29年度第1回定時評議員会招集の件

以上すべて原案通り可決承認された。

報告事項1：学生寮開設に向けた作業進捗状況

報告事項2：20周年記念行事内容の詳細について

報告事項3：経済的困難性を抱える児童・生徒への教育支援プログラムについて

報告事項4：ネパール寄付金使途状況について

報告事項5：平成28年度奨学生卒業生の報告

以上が報告された。

【評議員会】

(1) 第1回定時評議員会

開催日：平成28年5月9日（月）午後5時～午後5時35分

開催地：ザ・キャピトルホテル東急「桐の間」

出席者：評議員10名、理事6名、監事2名

議長：本庄大介

議案：

第1号議案：平成27年度事業報告書及び収支決算書の承認の件

第2号議案：理事、監事および評議員選任の件

第3号議案：平成28年度理事及び監事の報酬額の承認の件

第4号議案：評議員会議事録署名人選任の件

以上すべて原案通り可決承認された。

報告事項1：学生寮開設に向けた改修工事の進捗について

報告事項2：20周年記念国際シンポジウムについて

報告事項3：中・高校生のための奨学金プログラム創設の検討について

【選考委員会】

(1) 第1回奨学生選考委員会

書面による決議

決議があったとみなされた日：平成28年7月14日(木)

選考委員長：本庄大介

議案：

第1号議案：平成28年度(第20期)海外留学日本人大学院生奨学生選考の件

第2号議案：Honjo-Professor Lewis (USC,IBEAR) 奨学金プログラム奨学生選考の件

選考委員による書類選考を経て面接選考が行われ、平成28年度海外留学日本人最終選考合格者名簿（添付4）のとおり合格者が決定された。

(2) 研究助成金選考委員会

開催日：平成29年1月20日（金）午後12時00分～午後4時00分

場所：TKP品川カンファレンスセンター

出席者：選考委員長 近藤和雄、

選考委員 合田敏尚、提坂裕子、

評議員 本庄竜介、

事務局 松本功一、河島伊都子

議 題：平成 29 年度食と健康研究助成金プログラム助成対象者の選考の件
(3) 第 2 回奨学生選考委員会

書面による決議

決議があったとみなされた日：平成 29 年 3 月 1 日(月)

選考委員長：本庄大介

議 案：

第 1 号議案：平成 29 年度(第 21 期)外国人留学生奨学生選考の件

第 2 号議案：平成 29 年度(第 12 期)国内日本人大学院生奨学生選考の件

第 3 号議案：海外奨学金プログラム奨学生選考の件

選考委員による書類審査を経て選考委員長による面接選考を行い、平成 29 年度奨学生および研究助成金最対象者一覧(添付 4)のとおり合格者が決定された。

C 登記

東京法務局渋谷出張所に対し、次の登記を行った。

(1) 平成 28 年 5 月 25 日 理事の変更登記

D 届出および申請

内閣総理大臣に対し、次の届出および申請を行った。

(1) 平成 28 年 6 月 10 日 平成 27 年度事業報告書等の提出

(2) 平成 29 年 3 月 30 日 平成 29 年度事業計画書等の提出

以上

平成 28 年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので付属明細書を作成しない。

平成 29 年 4 月
公益財団法人本庄国際奨学財団